

② トラブルにならないような話し方を学ぼう<高等学校>

ワークシート () 年 () 組 () 号 氏名 ()

『トラブルにならないような話し方を学ぼう』

1. トラブルになりそうな場面で、どのような話し方をしたらよいかを考えましょう。

【トラブルになりそうな場面①】

友達のAさんに頼まれて、Bさんは漫画本を貸しました。Aさんは忘れてしまったのか、いつまでたっても返してくれません。

そして、ある日、AさんはBさんに、また別の漫画本を貸してほしいと言ってきました。

3番目の話し方のシナリオ	【話し方のポイント】
A：ねえ、Bさん。 B：なに？ A：あの漫画本の最新刊買ったんだって？ B：うん。買ったよ。 A：面白かった？ねえ、貸してよ。	
B： <u>①それより、前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？</u>	①() を確認する
A：あっ、ごめん。忘れてた。まだ、返してなかったんだ。	
B： <u>②あの漫画本、私、もう一回読み直したいんだけど。</u> <u>③明日持ってきてくれる？</u>	②() を伝える
A：あ～、まだちょっと読み終わってないから、もうちょっといいかな。	③() を提案する
B：うん、いいけど。 <u>④じゃあ、前のを返してくれたら、新しいのを貸すっていうのはどう？</u>	④() をする
A：うん。分かった。	

2. 【話し方のポイント】を使って話し方の練習をしましょう。

<練習>

【トラブルになりそうな場面②】
 掃除の時間、教室掃除担当のAさんは、いつも楽なほうきの仕事ばかりをしたがるため、同じ班のBさんには黒板拭きばかりが回ってきて、Bさんは嫌な思いをしています。
 今から、Bさんは、Aさんに掃除の仕事を交代してほしいと言いにいきます。

(1) 下の空欄に、Bさんの台詞を書きましょう。

自分も相手も大切に話す話し方	【話し方のポイント】
B：ねえ、(①))よね？	① 事実を確認する
A：あ、うん。	
B：(②))したいな。	② 自分の気持ちを伝える
(③))くれる？	③ 相手にどうして
A：えー、今日から？	ほしいのかを提案する
B：じゃあ、(④))はどう？	④ 別の提案をする

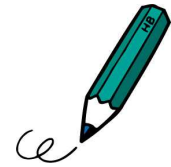
(2) Aさん役の方は、Bさん役の話し方に【話し方のポイント】が入っていたら、○印を付けてチェックをしましょう。また、ポイント以外の良かったところを書きましょう。

【話し方のポイント】	ポイントが入っていたら○を付ける
① 事実を確認する	
② 自分の気持ちを伝える	
③ どうしてほしいのかを提案する	
④ 別の提案をする	
【トラブルにならないような話し方のポイント】以外の良かったところ（表情や口調など）	

3. 【聴き方のポイント】をまとめましょう。

- ① ()を見て、()ながら聴く
- ② ()まで聴く
- ③ ()を()から読み取りながら聴く

② トラブルにならないような話し方を学ぼう<高等学校>



振り返りシート

()年()組()号 名前()

○今日の学習を振り返りましょう。

(1) 学習に進んで参加することができましたか？

できた だいたいできた あまりできなかった できなかった

(2) トラブルにならないような話し方のポイントが分かりましたか？

分かった だいたい分かった あまり分からなかった 分からなかった

(3) トラブルにならないような話し方のポイントに気を付けて練習できましたか？

できた だいたいできた あまりできなかった できなかった

(4-①) 今日の学習の前後で、トラブルにならないような話し方についての考え方が変わりましたか？

変わった 少し変わった あまり変わらなかった 変わらなかった

(4-②) (4-①)で、それを選んだ理由を詳しく書いてください。

(5-①) 今日学習した内容をこれからの生活に生かしていきたいと思えますか？

思う 少し思う あまり思わない 思わない

(5-②) (5-①)で、それを選んだ理由を詳しく書いてください。

(6) 今日の学習の気づきや感想を書きましょう。
